

i-SB 法を活用した DX・GX 支援事業 第2回技術普及セミナー
～データインフォマティクス入門 AIST 発アプリで実験データを可視化・解析する～

近年、AI やデータ科学の急速な進展により、製造業や材料開発の現場では、「勘と経験」に頼る従来の手法からデータ駆動型の開発手法への転換が求められています。特に、マテリアルインフォマティクス (MI) は、材料探索の効率化、製品設計の最適化等、持続可能な社会の実現に向けた鍵技術として注目を集めています。

こうした背景を踏まえ、本セミナーでは、産業技術総合研究所 (AIST) 発の MI 支援アプリケーションを活用し、座学と実習の両面から MI の基礎と応用解析について学びます。座学では MI の理論や活用事例を解説し、実習では実際の材料データを用いた解析を体験いただきます。

御多忙中とは存じますが、皆様の御参加を心よりお待ちしております。

記

- 1 日 時 **令和7年12月5日(金) 13時30分から17時00分まで(13時00分から受付開始)**
- 2 場 所 地方独立行政法人岩手県工業技術センター 1階 ホール
[〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡2丁目4-25 電話 019-635-1115 (代)]
- 3 主 催 地方独立行政法人岩手県工業技術センター
- 4 共 催 岩手県、岩手大学分子接合技術センター、i-SB 事業化プラットフォーム
- 5 後 援 高分子学会東北支部、日本化学会東北支部、プラスチック成形加工学会東北支部
- 6 内 容

時間	概要
13:30 ～ 16:30	「データインフォマティクスアプリ「AIST app」を用いた材料評価」 産業技術総合研究所 機能化学研究部門 化学材料評価研究グループ 研究グループ長 新澤 英之 氏 【概要】 ○イントロダクション ・DX 導入の課題 ・主成分分析の原理 ○AIST 発アプリを使った演習 (PCA Toolbox : スペクトルの特徴抽出) 演習問題【基礎編】 ・お酒の消費量データ ・ウイスキーの官能評価試験データ ・日本の地域別産業指標データ ・広島の間月平均気温の推移 演習問題【実践編】 ・劣化したプラスチックの近赤外スペクトルデータ ・塩ビパイプの熱分解スペクトルデータ ○質疑応答・技術相談 AIST app 紹介サイト ↓↓↓ 
16:30 ～ 16:50	「i-SB 法による接合技術の取組紹介」 (地独) 岩手県工業技術センター 機能材料技術部 主査専門研究員 村上 総一郎 【概要】 岩手大学と岩手県が中心となり取り組んだ「分子接合技術」について、研究紹介します。
16:50 ～ 17:00	質疑応答・技術相談

- 7 定 員 20 名 (定員になり次第、締切とさせていただきますので予め御承ください。)
- 8 対 象 岩手県内製造関連企業、接着・接合関連および表面技術関連業務に携わる方、データインフォマティクスに興味がある方
- 9 受 講 費 無料
- 10 申込方法 **裏面又は当センターホームページ掲載の参加申込書に必要事項を御記入のうえ、メール又は FAX により下記担当宛お申込みください。申込締切：令和7年12月3日(水)**

【担当】

岩手県工業技術センター 機能材料技術部 村上総一郎
電話 019-635-1115 (代表) FAX 019-635-0311
e-mail iiri-material@pref.iwate.jp

参 加 申 込 書

i-SB 法を活用した DX・GX 支援事業 第2回技術普及セミナー

(令和7年12月5日(金)開催)

送信先

岩手県工業技術センター
機能材料技術部 村上あて
FAX 019-635-0311

e-mail iiri-material@pref.iwate.jp

貴社名

御連絡先 〒

御担当者氏名

TEL

FAX

参加者

氏 名	所 属	e-mail (必ず御記入ください)

※お願い事項（必読）

本セミナーは、座学と実習を組み合わせた形式で実施いたします。円滑な進行と効果的な学習のため、以下の事項を必ず御確認の上、御協力をお願いいたします。

※パソコン持参について

お申込みいただく方は、以下の推奨スペックを満たすノート PC を御持参ください。

〈OS〉 Windows 11 （※Mac は使用不可）

〈CPU〉 Intel Core i5 以上

〈メモリ〉 16 GB 以上

〈その他〉 講座内で Excel を使用します。

※事前準備について

実習に使用する AIST アプリは、事前に各自の PC へインストールをお願いいたします。申込完了後、ダウンロード URL をメールにて御案内いたします。インストールに不安がある方は、事前に事務局まで御相談ください。

※本セミナーは、岩手県「i-SB 法を活用した DX・GX 支援事業」の一環として開催するものであり、岩手県企業局電気事業の収益の一部が活用されています。